

このたび以下の研究を実施いたします。**本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。**

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

1. 対象となる方

2009 年 4 月より 2026 年 3 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の保管および研究使用に関してご遺族が同意された方のうち、死後の神経病理学的解析により顕著な神経疾患なしと診断された方。

2. 試料・情報を提供する研究課題名と研究期間、研究代表者又は研究責任者

研究課題名:筋萎縮性側索硬化症/パーキンソン認知症複合の臨床的調査研究

研究期間:研究実施許可受領後より 2032 年 3 月 31 日まで

研究代表者:三重大学地域イノベーション学研究所 小久保康昌・

研究責任者:国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

3. 本研究の目的及び意義

紀伊半島南部に多発する筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis: ALS)とパーキンソン認知症複合 (parkinsonism-dementia complex; PDC)、ALS/PDC はごくまれに見られる神経難病です。まだ原因が特定されておらず有効な治療法がありません。本研究課題では、過去 30 年にわたって、三重大学が取り組んできたこの疾患に関する臨床面での研究テーマを継続、発展させる中で、プロジェクトの一つであるオミックス解析に用いるコントロールの脳(1 例)を NCNP から提供いたします。

(共同研究機関))

三重大学地域イノベーション学研究所 小久保康昌・

研究責任者:国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

4. 利用する資料・情報等

試料:剖検脳組織

(取得方法)剖検時にご遺族の同意のもとに取得

情報:付随する情報(年齢、性別、死後時間、診断名、病理解析結果など)

(取得方法)診療録から入手

5. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 病理検査室 氏名 高尾昌樹

電話番号:042-341-2711 (代表)